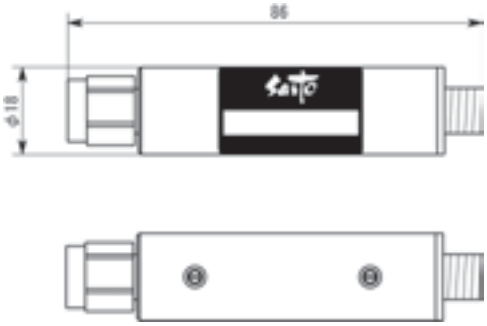
取 扱 説 明 書

Saito Com Co., Ltd.

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

UHF可変トラップフィルター
（Mr.Kシリーズ）



製品の特長

- 可変トラップフィルターとして業界随一の最小サイズ
- 安定した特性
- UHF チャンネル区分で 4 タイプ用意（1K・2K・3K・4K）
- 現場ニーズに合わせて自由に特性調整
  3 種類の特性：TF（合成共振・単一共振）・BEF
  合成共振減衰量 35dB 以上(45dB ～ 50dB 減衰有)
- 同製品との組合せ・他の Mr.K フィルターとの組合せ
  ２台連結対応可能

安全上のご注意

この機器を安全にお使いいただくために必ずお守りください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本紙には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

⚠ この記号は警告(注意を含む)を促す事項を示しています。

⃠ この記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。

⚠ 警告

当社製品は、十分な技術・技能を有する専門業者が取付け（設置・調整）を行うこと及び使用用途、場所が限定することを前提に販売しております。当社、お買い上げの販売店または専門業者にご確認ください。 ⚠ 注意

不安定な場所、高所などの足場の悪い場所に設置しないでください。落下するなどして、けがの原因となります。 ⃠ 禁止

雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。 ⃠ 禁止

⚠ 注意

振動の多い場所、温度変化の激しい場所への取付は避けてください。特性劣化の原因となる事があります。 ⃠ 禁止

この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造をしないでください。性能維持ができなくなり、故障の原因となることがあります。 ⃠ 禁止

この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となることがあります。 ⃠ 禁止

製品は確実に取り付け固定してください。落下して、けがや故障の原因になることがあります。 ⃠ 禁止

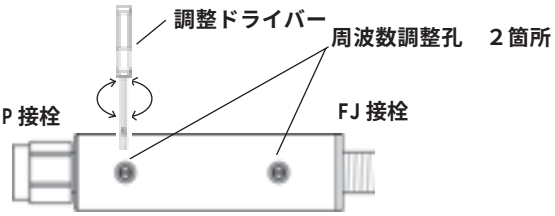
お問合せは下記まで

サイトウ共聴特殊機器株式会社

〒462-0011　名古屋市北区五反田町 64 番地
TEL :052-901-4151㈹　FAX :052-901-7653
URL :http://www.saito-com.co.jp/
E-mail :info@saito-com.co.jp

■外観説明

※調整には必ず適応した調整ドライバーを使用してください。
指定サイズに適応しない調整ドライバーを使用すると、ネジ山が破損する場合があります。



＜参考＞
調整ドライバーサイズ
⊖ 2.0 × 0.30 mm
(マイナス)
※調整ドライバーを選択する際の目安にしてください。

■トラップ特性の調整方法

トラップ周波数の移動

本器の特性は出荷時、可変移動範囲上限 ch の高域に仮設定してあります。

右回し(時計回り)低い周波数に移動

低域(下限 ch) ← 高域

※品番仕様帯域(下限チャンネル)に注意
※右回しの限度(破損の恐れあり)

調整ネジを右に回して、定格下限 ch 以下になりますとキツクなります。限度のシグナルです。

左回し(時計逆回り) 高い周波数に移動

低域 → 高域(上限 ch)

※品番仕様帯域(上限チャンネル)に注意
※左回しの限度(カラ回りの恐れあり)

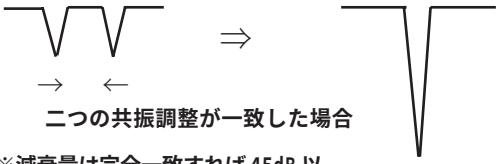
調整ネジを左に回して、定格上限 ch 以上になりますとカラ回りします。ネジが外れる限度のシグナルです。

注意

調整ネジの取扱いにご注意ください。調整ネジは必ず測定器等で確認しながら適用範囲内でお使いください。
調整孔の調整ネジに対し、垂直に調整ドライバーを合わせゆっくり調整ネジを回してください。速く回すと下限限度が分かり辛く調整ができなくなる事があります。(斜めに調整ドライバーを使用しないでください。)
調整ネジは止まる所(下限限度)で止めてください。強く締めると破損し特性劣化の原因となります。
調整ネジを緩めすぎると本体から外れ調整ができなくなります。調整ネジに必要以上負荷を与えないでください。

＜参考＞設定を 20℃前後基準とした場合のトラップ周波数偏移
-10℃～40℃の変化は各品番において高域周波数± 100KHz 以内、低域周波数± 350KHz 以内を目安で調整ください。
減衰量が -10℃～0℃の間では多少変化します。

a. 完全合成特性(TF)

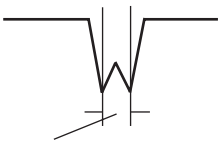


二つの共振調整が一致した場合

※減衰量は完全一致すれば 45dB 以上になる周波数があります。
(最低保証は 35dB 以上)

減衰量 35dB 以上

b. 近接合成特性(BEF)



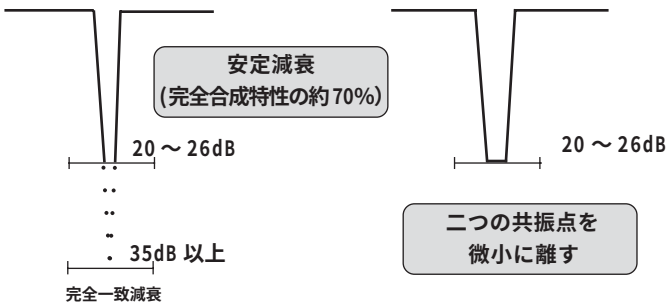
帯域 4 ～ 6MHz の場合
(5 ～ 9dB 程度減衰)

c. 単独特性

5 ～ 9dB 程度減衰　5 ～ 9dB 程度減衰

※減衰量は周波数によって 10dB を超える場合があります。

温度湿度変化に対する予防処置　安定合成特性(TF)



調整完了時の後処理

調整孔用ステッカー

※付属の調整孔用ステッカーで調整孔にフタをして、付属の常温収縮チューブを使用してください。
屋外での使用の場合、上記に加え必ず両端防水処理を行なってください。
※長期間使用しない場合、調整孔(２箇所)から湿気・ホコリが入らないようビニール袋等で密閉してください。調整孔から本体内部に湿気・ホコリが入り込むと、特性劣化の原因となる場合があります。

■機器定格

項　目	仕　様				備　考
名称	UHF可変トラップフィルター				
品番	TF-1K	TF-2K	TF-3K	TF-4K	
可変移動範囲	U13～U19	U19～U28	U28～U42	U41～U62	上限下限は少し余裕有
合成共振点減衰量	35dB以上				45dB～50dB減衰有
合成安定減衰量	26dB以上	24dB以上	23dB以上	20dB以上	温度変化等の安定策
単一共振減衰量	5dB～9dB程度				周波数によって10dB以上有
通過帯域・挿入損失	10MHz～770MHz　・　2.5dB以内				減衰極±6MHz以外
入出力インピーダンス	75Ω　F型接栓　(FP-FJ型) V.S.W.R.　2.5以下(通過帯域)				
最大通過電流容量	30V　50mA				
寸法(W×φD)・重量	86×φ18mm　約60ｇ				
備考	付属品：常温収縮チューブ・調整孔用ステッカー(2枚)				

※本器は精密加工調整品のため、本体内部を開封した場合、品質保証はいたしません。
※製品仕様及び、デザインは予告無く変更することがあります。

2004.3